

5歳児健康診査の実施について

1. 経過

令和5年11月末、国の令和5年度補正予算で「5歳児健康診査支援事業」が掲げられ、財政支援に加え、必要な技術的支援を行うことにより、全国の自治体での実施を目指すこととされた。

令和5年12月末、こども家庭庁より実施内容が示され、原則集団健診で、多職種による専門相談及び健診後カンファレンスを実施すること、対象者は実施年度に満5歳になる幼児とされた。

令和6年3月末、「5歳児健康診査マニュアル」が発出され、併せて「地域のフォローアップ体制の整備」についても努めることとされた。6月には、補助金に関するQ&Aが示され、個別健診であっても、必要な健診内容が実施され、保健指導、カンファレンス等が多職種にて実施される場合は健康診査として認められることが示された。

本市においては、令和6年8月の障がい福祉推進・連携三部会議において、5歳児健康診査の実施に向けて三部で連携して協議をすすめていくことを確認し、健康支援課においては、習志野市医師会小児学校保健担当理事及び市内小児科医との協議をすすめ、以下の方法による実施を予定している。

【5歳児健康診査の目的】

幼児期において幼児の言語の理解能力や社会性が高まり、発達障がい認知される時期であり、保健、医療、福祉による対応の有無が、その後の成長・発達に影響を及ぼす時期である5歳児に対して健康診査を行い、子どもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的とする。

2. 周知方法

個人通知、広報、市ホームページに掲載

3. 実施方法

対象者：市内に住所を有する、実施年度に満5歳になる幼児(年中児)全員

次の①及び②の方法で医師による健康診査を実施する。

① 園医健診：5歳児健診を実施する園に所属する年中児

5歳児健康診査問診票に保護者が回答した後、市内幼稚園、保育所、こども園で園医が行う内科健診時において5歳児健康診査を実施する。

② 医科個別健診：園医健診欠席者、園医健診を実施する園に所属していない児

5歳児健康診査問診票に保護者が回答した後、5歳児健康診査医科個別受診票を送付し、保護者と市内実施医療機関を受診する。

- 健診実施後、希望者・該当者のみ、専門職(心理相談員、保健師、管理栄養士、歯科衛生士)による個別相談に案内。
- 必要に応じ、ひまわり発達相談センターや児が所属している園と連携を行う。

4. 実施に向けた協力体制

- ・令和 7 年度においては、先行的に公立園において園医健診を実施予定。
- ・所属機関は、事前に集団生活における児の様子について、保護者の問合せに対応。
(保護者の同意が得られた場合、所属機関と健康支援課との連携が可)
- ・すでに療育の相談に繋がっている児については、5歳児健康診査の相談ではなく、継続相談を行っていく。

参考：個別支援計画作成とそれに基づく関係機関のつながり

